

公益財団法人網走監獄保存財団/博物館網走監獄

説明資料:平成 26 年度主要事業の概要

1 登録有形文化財(10棟)の重要文化財指定にむけて

平成 25 年度実施「五翼放射状平屋舎房移築復原・改修工事調査報告」に引き続き、当館が保存公開している旧網走刑務所建造物・登録有形文化財残り9棟について建造後の修復・改修履歴調査を取りまとめ、文部科学省文化庁と北海道教育庁に報告書を提出することにより重要文化財の指定を目指すものです。

(1) 旧網走刑務所歴史的建造物修復工事履歴調査委託 事業

調査は、北海道における建築史、歴史的建造物研究の権威である角幸博北大名誉教授(当館顧問)が代表を務める特定非営利活動法人 歴史的地域資産研究機構(略称:NPO 法人れきけん)へ舎房調査に引き続き事業委託を予定します。

報告書完成後、北海道教育庁(札幌)、文部科学省文化庁(東京)に調査内容の報告を行います。

本事業は、北海道に対し平成 26 年度において北海道地域づくり総合交付金の補助金 2,160 千円の申請を行う予定です。

・継続事業	予算額	<u>4,720千円</u>
-------	-----	----------------

(支出科目:委託調査費、旅費、諸謝費)+北海道地域づくり総合交付金を予定

2 充実した博物館の運営にむけて

(1) 博物館の社会教育事業

① 体験講座、ワークショップの開催 事業

新年度も様々なテーマのワークショップを開催します。

・「建築文化財ワークショップ」は 旧網走刑務所建造物の重要文化財指定を目指していることに関連する企画として、実際に歴史的建造物の維持、修復に携わっている専門業者、技術者を招聘し、子供たちや一般の方に修復技術等に触れていただくものです。

・「日本の心 能と狂言」は、重要無形文化財能楽の保持者 能楽師(能楽観世流シテ方)永島忠侈氏を講師に、網走では観覧する機会の少ない古典芸能を鑑賞、学ぶものです。

・「ものづくり体験」は、「夏休み講座:麦わらで作る蛍の虫かご」、「秋の自然体験:栗で染めるエコバッグをつくろう」、「クリスマス工作:スノードーム作り」、「冬休み講座:干支の羽子板をつくろう」、「お正月工作:絵馬作り」網走刑務所の作業を追体験する「機織講座:流氷織りに挑戦しよう」の6講座を開催します。

計8講座を開催します。

・継続事業	予算額	600千円
-------	-----	-------

(支出科目:臨時雇用賃金、旅費、消耗品費、諸謝費、広報費)

② 農園体験ワークショップの開催 事業

網走刑務所の農園刑務所としての特性を農業体験を通じて理解していただく農園ワークショップも定着してきました。26年度も長期連続講座として7回開催します。野菜、果実を栽培、収穫物を利用した加工品作りを行い、9月の収穫祭にて提供をします。

・継続事業	予算額	510千円
-------	-----	-------

(支出科目:臨時雇用賃金、広報費、植栽雑費)

③ 看守長屋の年中行事 事業

看守長屋を会場に8回開催。日本古来の伝統行事を再現します。

・継続事業	予算額	300千円
-------	-----	-------

(支出科目:臨時雇用賃金、消耗品費、教育普及費、広報費)

④ 季節イベントの開催 事業

博物館利用者誘致につながる参加しやすく楽しいイベントを開催するものです。

・5月GWは子供が参加しやすい「文化財スタンプラリー」「監獄グルメ・懐かしい味大集合」等。

・9月シルバーデーの二見湖畔神社収穫祭は大道芸人イベント、縁日、餅つきを開催します。

・継続事業	予算額	1,200千円
-------	-----	---------

(支出科目:臨時雇用賃金、器具費、教育普及費、諸謝費)

(2) 企画展、特別展開催 事業

調査研究成果を反映する特別展示を開催します。会場は歴史館特別展示コーナーを使用します。特別展①「網走刑務所の戦時行刑作業」は戦時中に網走を含む刑務所受刑者が海外に派遣されテニヤン島で滑走路などの軍事施設造営を行っていたことについて昨年資料収集を行った成果を展示するものです。合わせて美幌海軍飛行場建設などの土木作業を行ったことを展示します。

特別展②「文化財を繋げる技」は、旧網走刑務所建造物の重要文化財指定を目指していることに関連する企画として、刑務所建築時に自所調達された瓦、煉瓦、石などの資材について用途や役割についての解説、現在も歴史的建造物の修復等に携わっている専門業者、技術者の方に協力いただき道具の展示などを行います。

① 「網走刑務所の戦時行刑作業 テニヤン島飛行場と美幌海軍飛行場建設」 開催時期は5月から9月末まで。

② 「文化財を繋げる技 瓦と煉瓦と石職人」 開催時期は10月から3月末まで。

・継続事業 予算額 300千円

(支出科目:旅費、印刷製本費)

(3) 友の会への助成

① 博物館網走監獄友の会助成 事業

網走監獄の歴史や文化について研修を深め会員相互の親睦を図り、博物館活動の普及を目的とする博物館友の会が主催する行事バスツアー費用助成を実施します。

※友の会事業は、別に会員からの会費収入があり、二見供養碑維持活動、二見桜並木観桜会、企画展解説会を予定しています。

・継続事業 予算額 150千円

(支出科目:負担金)

② 『二見桜並木と古道をまもりそだてる会』助成 事業

二見桜並木の保護、啓蒙活動は次第に実を結びつつあります。新年度も会を通じて網走刑務所に桜の開花時期に、一般市民への並木部分の開放をお願いするほか、植樹用苗木提供(10～15年生桜苗木15本程度)、秋の並木内下草刈り作業の外部委託など費用助成を実施します。

・継続事業 予算額 330千円

(支出科目:植栽雑費)

(4) 展示見直しは、3 展示建造物の防犯・安全対策と固定資産の取得、4 経営の安定を図るための入館者の安定と収益事業の強化と重複するため省略

3 展示建造物の防犯・安全対策と固定資産の取得

(1) 鏡橋架け替え 事業

平成 25 年度に作成した実施設計書に基づき架橋工事を実施します。

二代目疑宝珠付き鏡橋をデザインモチーフとし、今後の管理コスト低減と安全性を考慮した木材と鋼材のハイブリッド橋工法を採用しました。工事实施は、入館繁忙期を避け 10 月着工を計画します。

・継続事業 予算額 25,000千円

(支出科目:固定資産・構築物取得)※鏡橋建替事業積立金 25,000 千円取崩で対応

(2) 庁舎展示改修基本構想作成 事業

内装リニューアル工事に引き続き、展示基本構想作成作業を進めます。来観者が最初に入る建物であることから博物館の設立趣旨や園地内に保存されている歴史的建造物の文化財価値、網走に監獄が設置されるまでの経緯等を主題とする展示を行うことを目的とした展示基本案の作成、必要な資料収集、調査作業を行います。

監獄歴史館内との展示内容、デザイン等の展示技法のすり合わせを行うほか、海外からの入館者増加に合わせた対策を含む展示基本構想作りを進めます。実際の展示改修作業は平成 27 年度実施を計画します。

・継続事業(庁舎内部改修事業より) 予算額 1,080千円

(支出科目:固定資産・展示備品取得)※庁舎内部改修積立金取崩で対応

(3) 再現休泊所建替え基本構想作成 事業

建設から 30 年以上を経過し、施設老朽化が進んでいるため再現休泊所の建替え基本構想を作成します。建替えに当たっては、当時の集治監建造物の実態を調査し、規模等できる限り忠実に再現することを目標に作業を進めます。

中央道路工事の実態を伝えるため、単に休泊所一棟を再建するだけではなく状況を再現する展示や、道路工事の経緯の展示を含めた調査企画作業とします。

・新規事業 予算額 740千円

(支出科目:委託調査費、旅費)

(4) 館内監視システム改修 事業

館内監視システムの大規模改修を行います。カメラ及び記録装置は全てデジタル化をし、監視範囲、夜間暗視能力、画像記録時間等を向上させるものです。

機械警備システムと連動し、施設退館後もパソコンやスマートフォンを通じて施設内の監視モニターが可能になります。

・新規事業 予算額 9,400千円

(支出科目:固定資産・什器備品)※展示建造物防犯・安全対策積立金 9,400 千円取崩で対応

(5) 歴史的建造物保全対策 事業

平成 25 年度に寒冷期となり工事継続ができず未完となった舎房屋根再塗装工事を実施します。(第四舎、第五舎分)

・継続事業 予算額 5,810千円

(支出科目:固定資産・構築物取得)※屋根改修等積立金 5,810 千円取崩で対応

(6) 連絡用車両の更新 事業

導入から12年が経過した連絡用車両を更新します。省コスト対策としてハイブリッド車両導入を検討します。

・新規事業 予算額 2,500千円

(支出科目:固定資産・車両)※連絡車両購入積立金 2,500 千円取崩で対応

(7) 博物館収蔵資料管理台帳・図書管理台帳データベースの更新 事業

パソコンの OS 更新に合わせて、資料管理及び図書管理データベースを更新します。クラウド型ソフトを採用し、動画情報等も扱えるものとします。これによりインターネット上での資料公開や他博物館、研究機関との連携が容易に行えるものとなります。

・新規事業 予算額 650千円

(支出科目:固定資産・什器備品、修繕費(年間管理費))※データ管理・図書管理システム更新積立金 560 千円取崩で対応

4 経営の安定を図るための入館者の安定と収益事業の強化

(1) インバウンド(訪日外国人誘致)対策 事業

① 訪日外国人誘致プロモーション 事業

・海外入館者の多くを占める台湾、香港へのプロモーション(航空会社、旅行代理店への渉外活動)を引き続き行うほか、一昨年より北海道への入込が急増しているタイへのプロモーション(チャーター便誘致協議会主催)に参加します。(500千円:旅費)

・台湾、香港からの誘致に使用する繁体字版、英語版施設紹介パンフレットを製作するほか、他団体が実施する海外プロモーション時にパンフレット配布を依頼します。(1,410千円:広報費)

・外国人観光客受け入れに関する団体、日中、日台友好協会会費等を負担します。(90千円)

・継続事業 予算額 2,000千円

(支出科目:旅費交通費、負担金、広報費)

② 公衆無線LAN(WiFi・ワイファイ)設置 事業

海外からの個人型旅行者が利用を求めている、モバイル端末(スマートフォン、携帯型PC、タブレット端末)のインターネット接続無料サービス用設備を庁舎ミュージアムショップ、監獄食堂棟の2箇所に設置します。専用光回線の敷設、アンテナ等設備工事費用及び、光回線、プロバイダ一契約料。

・新規事業 予算額 980千円

(支出科目:固定資産取得:什器備品、通信運搬費)※工事費用はWiFi設置積立金900千円取崩で対応

③ 監獄歴史館 映像展示外国語対応サービス付加 事業

外国人入館者に対応するため、監獄歴史館の映像展示「赫い囚徒の森体感シアター」「五寸釘寅吉の独り言劇場」に外国語字幕を付加する、もしくは外国語音声バージョンを製作し上映するなどのサービス付加を検討します。(追加補正予定)

・新規事業 予算額

(支出科目:固定資産取得:展示備品)

④ 施設めぐりバス運行助成 事業

公共交通確保は、外国人観光客誘致に必要なため「網走観光施設めぐり線(天都山線)」の通年運行を市、観光協会、流氷館、北方民族博物館と連携し引き続き助成を実施します。当館においては外国人個人型観光客(FIT)利用が増加しており特に有効となっています。

・継続事業 予算額 300千円

(支出科目:負担金)

(2) 道内観光客誘致対策 札幌駅コンコース内デジタル広告掲出 事業
道内観光客誘致対策として、札幌駅コンコース内にデジタル広告を掲出します。

・新規事業 予算額 2,200千円
(支出科目:広報費)

(3) 来館者誘致 メディアを利用する情報発信 事業
観光客誘致対策として国内大手旅行情報誌3誌に広告を掲出するほか、地域による連動型
広告企画に協賛します。

・継続事業 予算額 2,550千円
(支出科目:広報費)

(4) 来館者誘致 旅行代理店対策プロモーション 事業
国内旅行代理店対策は、札幌、東京、大阪、名古屋を中心にした主要代理店への対応を進めま
す。(訪問活動、業者連携団体への加盟、会議出席、旅行商品パンフレット製作協賛、送客手数料
の支出)を行います。

・継続事業 予算額 7,770千円
(支出科目:旅費、負担金、広報費、支払手数料)